



赤十字奉仕団支部委員会副委員長  
生駒市赤十字奉仕団 委員長

永野 洋子さん

◆赤十字に関わったきっかけ◆

もともと生駒市は地域婦人団体連絡協議会の方が赤十字の活動もおこなっていたが、メンバーの高齢化により活動が困難になってきたことから、生駒市内の自治会内にて赤十字奉仕団の団員募集の回覧がありました。また当時西地区の自治会長を担っていたことから、当時の自治会長から団員へのお声かけをいただき、テレビなどで赤十字の活動（災害支援、講習活動、献血など）を目にしていたことから、赤十字奉仕団員へ加入しました。

ご縁もあって、生駒市赤十字奉仕団結成から委員長も務めさせていただいております。



★生駒市赤十字奉仕団の活動内容など★

結成当時は各地区の自治会長・自治会メンバーから団員が集まり、20名程で活動をおこなっていました。まずは生駒市民の方々へ赤十字のことを知ってもらおうと思い、広報活動に力を入れました。

献血の呼びかけ協力に加えて、奉仕団員も赤十字の講習会を受講し、そこで学んだことを団員が各自治会へ持ち帰り、赤十字の活動内容やAEDの使い方・身近な手当などを広めています。

昨年長年の広報活動が実を結び、生駒市全自治会長が集まる場にて、AED講習会の開催と赤十字の活動を知ってもらうきっかけへと繋がりました。

また、サロンの会にて三角巾の使い方やハイゼックスでの炊き出しなどをおこなっています。

講習会を開催すると毎回25名程の参加者があり、なかには継続して参加される方もいらっしゃいます。団員同士一致団結して、楽しみながら活動をおこなっています！

♥赤十字に関わってよかったことや

ほっこりエピソードなど♥

講習会を受講し、AEDや三角巾の使い方、応急手当などを学べたことで、AEDの使い方への恐怖心がなくなりました。献血の呼びかけをおこなっていると知り合いの方から呼びかけによって、献血へ協力するきっかけになっていると聞き、嬉しく思います。

生駒市内にて香芝市赤十字奉仕団の方々と一緒に講習会を実施しました。地区の垣根を越えて、奉仕団員とのつながりができ、また講習会後の受講生から「講習を受講して良かった。」「AEDの使い方を初めて知れた。」など感想をいただくと、開催してよかったなと思います。

